



おかべ      ほの      か  
岡部      歩乃佳 殿

なかみち      ほの      か  
中道      穂香 殿

### ■事績

2017年12月にドバイで行われた「ドバイ2017アジアユースパラ競技大会」に愛媛県から2人だけ代表選手として出場。岡部さんは出場した5種目すべてで金メダルを獲得、中道さんも2つの金メダル、2つの銀メダルを獲得するなど、アジアのジュニア選手の中でトップクラスの実力を持ち、2年後の東京パラリンピック出場が期待される将来性豊かな2人。

先天性右前腕欠損で生まれつき右ひじから先がない岡部歩乃佳さんは、両親の「ありのままの姿で前向きに生きて欲しい」という願いで4歳から水泳を始めた。負けず嫌いの性格と毎日のひたむきな練習と努力で実力をつけ、中学3年の時には国内最高峰のジャパンパラリンピックで優勝、2017年のえひめ大会では50m自由形と50m背泳ぎに出場し、ともに大会新記録で優勝した。

中道穂香さんは、先天性右下肢欠損で生まれつき右足がない。水泳を始めたのは小学2年生の時、水の中では自由に動けそうだからという母・美津さんの勧めからだった。水泳で体力も気持ちも強くなったと話す中道さんは、2016年、2017年と2年連続でジャパンパラリンピックで優勝。えひめ大会では50m自由形と50m背泳ぎで優勝した。

2人は、同じ学年で同じ名前、同じ競技と共通点が多く意気投合、親友であり運命のライバルとして認め合っている。

2人とも明るく前向きな性格で多くの人に慕われていて、自分たちの活躍が少しでも障がい者スポーツの理解につながればと水泳に励んでいる。